

令和4年度 試験研究概要

《研究課題名》

完熟馬糞発酵コンポストの高機能化とその検証による商品開発

《申請者》

フリガナ：カブシキガイシャリーフ
所属機関・団体：株式会社リーフ
職位・氏名：代表取締役・鈴木総一

《研究の概要》

弊社では茨城大学と共同研究で稲敷郡美浦村周辺における馬糞の有効活用を目的とした、完熟発酵コンポスト化技術の開発および製造したコンポストの販売事業に取り組んでいる。しかしながら化学肥料主体である慣行農家への販売において、製造工程で発生するコストによる一般的な堆肥との価格差が大きな課題であった。そこで新たな販路としてガーデニング用資材としての販売形態に着目した。コロナ禍での在宅時間の増加に伴い、一般家庭を中心とした室内および屋外でのガーデニング需要は増加している。ガーデニング利用者の特徴として、農業生産者と異なりエシカル利用が見込まれる点や、その資材単体で栽培が可能であるといった簡便さや利便性を重要視する点が挙げられる。しかしながら一般的なコンポストの特徴として臭さや虫の誘因が挙げられ、ネガティブなイメージを持つ一般市民も多いと考えられる。そこで本研究では一般家庭での利用に注目し、特に若い女性をメインターゲットとした場合の”使い易さ”を目指したコンポストの商品開発を行うことで販路拡大を図る。ガーデニング向けの”臭わない”、“環境に優しい”、“サステイナブル”な高機能コンポストの商品開発を行うことで、販路拡大と地域未利用資源再利用の同時実現を目指す。コンポスト化発酵の各作業工程の見える化や、完成品の微生物分析を行い他製品との差別化について検証するほか、栽培試験を通して実際のガーデニングで生じる課題点や不満点を洗い出し改善に向けた発酵方法の見直しや議論を大学などと共同で執り行う。また農業のように大規模に散布することがないため大袋ではなく、小袋化することでガーデニング商品需要を高めることを目指し、市場調査の結果を参考により効果的な完熟馬糞発酵コンポストの利用拡大を図る。小規模ロットでの販路拡大を実現させ、一般消費者にコンポストや環境問題について身近に感じてもらうことで製造ロットを拡大し、製造原価が下がることで農業利用拡大にも貢献できると考え、最終的には本事業の研究結果を踏まえてガーデニングおよび農業向け両方の販路拡大にも繋げていく。